

プラン 1 市民参画の行政、街づくりで地域創生

- ①広報戦略関係事業 ▶予算 13,530千円
市長と語る会、ホームページやフェイスブック、広報だざいふなどによる情報発信、朝のあいさつ運動、年度末繁忙期における土曜開庁の拡大などを引き続き実行に移すとともに、秘書広報機能のさらなる充実強化を図ります。
- ②まちづくりビジョン会議事業 ▶予算 1,536千円
総合戦略策定後も引き続き産官学などによる具体的な事業提案を受け、ダイナミックな事業展開を図れるよう意見交換を行います。

プラン 2 学問の神様にふさわしい教育、子育て

- ①民間プールなどを活用した水泳授業事業 ▶予算 19,725千円
施設のインストラクターが専門的指導を行うことで子どもたちの水泳技術も向上し、指導者が増えることによりこれまで以上に目が行き届き、安全面においても向上が図られています。併せて、日常的なプール管理の必要がなくなることで教職員の負担軽減が図られるとともに、施設の維持管理が不要になることで、大幅な経費の節減効果も得られています。令和2年度は、昨年度の実施校に加え、太宰府小学校でも民間プールなどを活用した水泳授業を実施します。
- ②保育補助者雇上強化事業 ▶予算 13,584千円
保育士業務を軽減するために、私立保育所および小規模保育施設で、短時間勤務の保育資格を持たない保育補助者を雇い上げた費用に対し補助を行うことで、離職防止を図るとともに、保育補助者の将来的な資格取得を促すことで安定した保育士確保につなげ、弾力的な児童の受け入れ数を確保します。
- ③子育て世代包括支援センター開設準備事業 ▶予算 10,150千円
妊娠期から子育て期にわたるさまざまなニーズに対し切れ目なくサポートし、総合的相談支援を提供するため、令和2年度中の開設に向けて、組織体制と施設改修などの準備を進めます。

プラン 3 徹底した行革と超成長戦略で財政再建

- ①ふるさと納税事業 ▶予算 184,556千円
市内産業の活性化および市外事業者の市内におけ

る拠点設置を図るため、「THE DAZAIFU」プロジェクトや「THE REIWA」に基づく、令和発祥の都太宰府らしい新たなふるさと納税返礼品をさらに充実させます。また、「モノ消費」だけでなく「コト消費」のメニューも充実させることでさらなる寄付額の増加を目指すとともに、クラウドファンディングをはじめ、ふるさと納税の用途のプロジェクト化や企業版ふるさと納税の活用による財源確保も図ります。



- ②計画的な公共施設整備事業 ▶予算 30,648千円
公共施設整備基金の継続的な積み立てを行いつつ、再編のありかたについて検討を重ねます。特に「いきいき情報センター」の利活用については、民間事業者などのアイデアや意見を幅広く把握するため、速やかに「サウンディング型市場調査」を実施し、公募条件の整理を行うとともに優れた事業提案を促します。
- ③がんばる中小企業応援事業 ▶予算 2,000千円
さらなる経営の向上を図ることを目的として経営革新計画を策定し、新たな事業活動に取り組む事業者に対して、その要する費用の一部を助成する「がんばる中小企業応援事業補助」制度を新たに創設します。
- ④都市計画調査事業 ▶予算 3,000千円
土地・空間の利活用を検討し、当該エリアの活性化を図るためにも、基礎資料の収集や分析を行い、用途地域や高度地区等の変更の判断材料とすることで、今後、県との協議、地域への説明などに活用していきます。

プラン 4 積極的広域連携による大太宰府構想

- ①コミュニティバス運営事業 ▶予算 163,931千円
まほろば号8路線と地域サポートカー3路線の運営を行うとともに、持続可能で安全・便利なコミュニティバスの適正運行のための課題解決に向けて、引き続き取り組みます。確実な乗り継ぎ、乗務員の休憩時間の確保、経費削減ならびに、地域からの要望に応える形での利便性向上などを総合的に勘案したダイヤ改正を実施するとともに市域を超えた連携についても引き続き可能性を追求します。
- ②全国史跡整備市町村協議会全国大会事業 ▶予算 5,040千円
全国611の市区町村が加盟する全国史跡整備市町村協議会の第55回大会を、10月に本市で開催します。全国からの参加者を本市に迎えることで高い経済効果が見込まれるとともに、大太宰府的な観点から本市の取組みや提言を全国に発信することで、本市を牽引役とするさらなる史跡の魅力化や活用につなげます。



プラン 5 環境重視の逆転の発想で渋滞解消

- ①渋滞解消調査事業 ▶予算 2,000千円
ロードプライシングも視野に入れた交通誘導施策、パークアンドライドやシェアサイクルの活用など本市にとって最善の方策について検討し、関係機関との協議を行います。また、坂本地区を中心に大規模住宅開発事業が続いており、今後人口や交通量の増加により生活や道路環境の悪化が想定されることから、今後の対応について検討を始めます。
- ②市道整備・管理事業 ▶予算 219,644千円
通行車両による騒音や振動が軽減され、また舗装版の不陸がなくなり歩行者が通行しやすくなるよう、令和元年度に策定する舗装個別施設計画に基づき、劣化している舗装の表層の改修事業を行います。また、国土交通省の社会資本整備総合交付金事業を活用し、道路橋梁等の「既存施設の長寿命化の推進」、「通学路における安全対策の推進」、「道路交通の円滑化、安全性・快適性の向上を図る整備」などを行うことで、道路を通行する市民の安全確保を図ります。



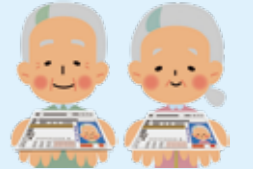
プラン 6 民間の知恵を生かした高齢者福祉

- ①地域包括支援センター運営事業 ▶予算 48,540千円
地域ケア会議や協議体などの活動をとおして多様な主体との連携を図ることで、利用者の利便性に配慮するとともに地域住民などに対し高齢者の視点に立ったよりきめ細やかな対応を行います。また、イベントなどに合わせて相談ブースの開設を行うなど、アウトリーチ型の相談体制を引き続き進めます。
- ②就職氷河期世代対策事業 ▶予算 4,870千円
就労に向けてのキャリアアップ・キャリアチェンジに向けた支援や安定した雇用の確保などの支援、また、社会参加に向けた支援につなげるため、断らない相談支援など複合課題に対応できる包括支援や居場所づくりに努めます。さらには、就労準備支援員により、個人々の状況に合った一般就労に向けての支援を実施し、併せて個別相談や交流会、就労体験などをとおして職業的自立など、将来に向けた取り組みを支援する若者サポートステーションの活用を図ります。



プラン 7 防衛省自衛隊と連携した市民の安心安全

- ①高齢者運転免許証自主返納支援事業 ▶予算 2,000千円
県の市町村運転免許証自主返納支援事業補助金を活用して免許証自主返納者へ交通系ICカードを交付し、高齢者の運転免許証の返納を促し、事故減少を目指します。
- ②消費者行政・啓発事業 ▶予算 7,634千円
太宰府市消費者センターや消費者安全確保地域連絡会議などを通じ、消費者トラブルに関する相談、情報共有、連携を図り、消費生活上のトラブルの解決、未然防止につなげます。



その他 第五次総合計画後期基本計画に基づく事業

- ①飼い主のいない猫不妊去勢手術費補助事業 ▶予算 391千円
飼い主のいない猫不妊去勢手術費補助事業を令和2年度中に新たに実施する予定です。飼い主のいない猫の繁殖に伴うふん尿、ごみを荒らすなどの近隣被害・迷惑を低減させ、市民の動物愛護および共生意識の高揚と、快適な生活環境の保持に努めます。
- ②人権政策事業及び男女共同参画推進事業 ▶予算 15,427千円
昨年4月に「人権尊重のまちづくり推進基本指針」を改訂しました。この指針を基本としながら、家庭、職場、学校、地域などあらゆる分野を通じて人権尊重の理念を普及し、理解を深めていただくよう、教育および啓発を学校教育、社会教育とも連携を図りながらさらに推進していきます。また、「第2次太宰府市男女共同参画後期プラン」に基づき、固定的な性別役割分担意識の解消、ワーク・ライフ・バランスの推進、配偶者などからの暴力の根絶、女性の活躍推進などに取り組み、社会のあらゆる分野において男女が共に参画できるまちづくりを進めていきます。
- ③ICT推進事業 ▶予算 276,272千円
国の施策や動向、市民を取り巻く環境の変化などを踏まえたうえで、電算システムの安定稼働及び情報機器の更新により、電子情報による行政サービスの向上を図ります。情報セキュリティ分野では、セキュリティ事故を未然に防ぐために、人的・技術的・物理的セキュリティ対策を組織的に講じ、更なる安心・安全なICT環境の実現に向けて取り組みます。

